

ホンジュラス定期報告(2021 年 11 月)

2021 年 12 月

在ホンジュラス日本国大使館

- [内政]大統領選挙:11 月 28 日、大統領選挙、国会議員選挙、全国市長選挙等の投票が行われた。選挙終盤においても選挙事務の遅れが目立ち、公正な選挙、治安の悪化に対する懸念が広がったが、投票は概ね平穏裡に実施された。開票・集計作業は 12 月に入っても続いているが、11 月 28 日、22 時過ぎ(開票率 16.01%時点)には野党連合(リブレ党)のシオマラ・カストロ候補が実質的な勝利宣言を出した。
- [外交]:エルナンデス大統領はCOP26 グラスゴー会議に参加し、関係各国・機関に対して気候変動による自然災害や、港湾、橋梁建設など国内経済開発のための支援の要請をおこなった。また、同大統領は台湾を公式訪問し、蔡総統との会談の他、呉外交部長、民間経済団体等との意見交換を行った。
- [外交]:米国ホワイトハウスは空席となっていた駐ホンジュラス米国大使にローラ・ファンズワース・ドグ陸軍参謀総長外交政策アドバイザーを指名すると発表した。同大使は今後米上院外交委員会、同本会議での承認等を経て着任する見込み。
- [新型コロナウイルス]:11 月末時点で、少なくとも1回接種した人の割合は全人口の約 50%に上った。

1 内政

(1) 大統領選挙関連

ア 11 月 5 日、当地主要各紙は、11 月 28 日に実施される大統領選挙に無所属で出馬する候補サントス・オレジャーナ(Santos Orellana)氏が、マネーロンダリングの容疑で逮捕・起訴された旨報じた。

イ EU 選挙監視団(MOE)及び米州機構(OAS)選挙監視団の活動。

(ア)EU 選挙監視団は、選挙前の国内情勢や選挙プロセスに関する意見交換を目的に、先週から各党大統領候補との対話を行った。11 月 4 日には自由党大統領候補のジャニ・ローセントールやその他候補と会合を設けた。EU 選挙監視団は、投票結果を判断するのではなく、あくまで選挙プロセスを評価することを目的とした。

(イ)また、EU 選挙監視団は地方に分かれて活動。セイバ市では、同市が選挙中、治安維持含む必要な支援を実施することを確認した。EU 選挙監視団は、不測の事態なく、計画通りに選挙プロセスが進むことを願っている旨述べた。

(ウ)米州機構(OAS)選挙監視団と国家統一フォーラム(FONAC)(当館注:FONAC は、経済、教育、宗教、医療等各セクターの代表者 22 名から成り、国内の様々な課題について政府に助言・勧告を行う。)は、選挙に関する会合を開き、選挙プロセス確立を加速させる必要があるとの認識で一致した。

(エ)両者は特に、開票状況公表システム(TREP)や指紋認証システム等の導入スケジュールについて意見交換を行った。

(オ)FONAC は、11 月 28 日の投票日に、独自に投票所の監視を実施するとした。

ウ 選挙関連各機関やドナー会合における選挙をテーマにしたイベント等

(ア) G-16 援助機関担当者級会合(GTS :Grupo Tecnico de Seguimiento HIPC (Heavily Indebted Poor Countries))における選挙事務準備状況の報告

11 月 15 日、テグシガルパ市内で GTS 会合が、選挙事務の準備状況を議題にして開催された。この中で、発表に招待された民間政治シンクタンク NDI (Instituto Nacional Democrata)は前回 2017 年の選挙後に各党合意された選挙法改革や選挙関連予算の承認等が本来のスケジュールよりも大幅に遅れたため、選挙法改正や CNE 国家選挙委員会、選挙裁判所の創設等も遅れ、それらによって現状、選挙事務の遅れが危機的レベルに達していると発表した。

(イ) CNE による集計結果伝送(TREP)シミュレーション

11 月 16 日、CNE は全国 872 か所の投票所を対象にした TREP のシミュレーションを実施した。その結果、一部地域でインターネットへの接続不具合が生じたが概ね成功したと発表した。また、10 月 7 日時点で今次選挙の有権者数は 5,182,436 人。国内 5,755 の投票所に 18,293 組の投票箱が設置されると発表した。

(ウ) 選挙日前後 10 日間の武器携行・譲渡禁止法の国会承認

国会は、11 月 28 日の投票日前後 10 日間、全国における武器の携行及び譲渡を禁止する法案を承認した。違反者には、罰金 1 万レンピーラ及び武器の 6 か月一時預かり処分が課せられるとの内容(軍・国家警察、民間警備業者等には適用されない)。

(エ) 今次選挙での本人確認用に必須となる新国民IDカードについては、その移行作業が遅れ、同カードの未申請・未取得は 16 日現在約 40 万人分に上った。

エ ゾフコ EU 選挙監視団(MOE)団長及びパチエレ国連人権高等弁務官の発言。

(ア)ホンジュラス国民、政治家及び国家選挙管理委員会(CNE)は、選挙が平和裏に実施され、それぞれの責任を十分果たすことを約束してほしい(11 月 23 日、パチエレ氏)。

(イ)我々は選挙プロセス全体を評価するため、独立・公平・中立な立場におり、すべての選挙プロセスを同じ方法で監視する。我々が選挙期間中に干渉することはない。(11 月 23 日、ゾフコ団長)

(ウ)投票日から2日後の 11 月 30 日に、その時点における選挙プロセスの評価を暫定的に発表する予定。投票日から2か月後には報告書を提出する。

オ 11 月 25 日、国内主要メディアは、今次選挙の在外投票が米国及び中米各国のみで実施されることや、集計結果伝送システム(TREP)用機材配送が遅延していること等、選挙事務の準備状況他につき報じた。

(ア) 限定地域のための在外投票

① 国家選挙管理委員会 (CNE) によると、今次選挙で、在外投票が実施されるのは米国 14 か所と中米カリブの 6 か国 (6 か所) のみで、右 20 か所の投票所の有権者合計は 15,331 人であるとした。エル・エラルド紙は、前回は (有権者約 51,000 人に対して) 2,521 人しか投票しなかったが、今回はそれを下回る 1,000 人程度になる可能性を示唆した。

② 米フロリダ州に本部を置く移民団体「9月 15 日基金」のフローレス代表は、EFE 通信に対し、「いまだに 99.9% の在外ホンジュラス人が今次大統領選挙の投票時に必要となる新国民 ID カードを受け取っていない。人権及び憲法上保障される選挙権が侵害されており、これを受け入れることはできない。CNE からは投票日を目前にしているのに何の説明もないとして、現状に憤っている」と述べた。

(イ) 集計結果伝送システム (TREP) 用機材配送の遅延

CNE のリキシ・モンカダ委員は、24 日現在で TREP に必要な複合機 2,400 台 (注: 全国の投票所約 6,000 か所) がホンジュラスに届いていない旨明らかにした。

(ウ) 酒類販売禁止条例の施行

テグシガルパ市では投票日前後 1 日を含めた 3 日間 (土曜日朝 6 時から月曜日午後 6 時)、酒店やレストラン等で酒類の提供・販売を一時禁止する酒類販売禁止条例 (Ley Seca) が施行された。

カ 11 月 28 日、大統領選挙、国会議員選挙、全国市長選挙等の投票が行われた。同日 20 時 40 分過ぎ、国家選挙管理委員会 (CNE) は、今次大統領等選挙の第 1 回開票速報 (開票率 16.01%) を行った。上位 3 名の概要以下のとおり。開票率 100% の公式集計結果の公表期限は 12 月 28 日まで。

以下、() 内は得票率。

① シオマラ・カストロ候補 (野党連合 / リブレ党)	: 53.44% (297,714 票)
② ナスリ・アスフラ候補 (与党国民党)	: 34.01% (189,451 票)
③ ジャニ・ローセントール候補 (自由党)	: 9.23% (51,446 票)
その他 / 白票 / 無効票	: 3.32%

キ 11 月 28 日 22 時過ぎ (開票率 16.01% 時点)、野党連合 (リブレ党) のシオマラ・カストロ候補は以下の通り述べた。

我々は勝利した。我々を支持し続け、我慢強く耐え凌いでくれた国民と、リブレ党と野党連合を結成してくれたホンジュラス救済党のナスララ氏に心から感謝したい。

我々は、選挙運動において、相手を攻撃することはなかったし、憎しみや分裂を生じさせるようなこともせず耐えた。正義と平和を貫いた。

全てのホンジュラス人のための、皆が参加する和解・平和・正義のための政府を立

ち上げよう。我々は、自由と民主主義の下、地方、国会、中央政府が協力し皆で協力し、二度と権力の乱用を許さない。我々に敵はおらず、我々の反対者にも手をさしのべる。明日から全てのセクターと協力し、次期政権の基礎を固めるべく、対話を重ねていく。自分(カストロ候補)は新しい政府のために、休むことなく、全力を尽くす。

自由なホンジュラス(Honduras Libre)を作り上げることを約束する。これまでとは異なる公正で公平な祖国を築き、新しい時代をつくろう。麻薬、組織犯罪、貧困のないホンジュラスを目指そう。

ク また、同時点において、ナスリ・アスフラ候補が所属する与党国民党幹部は以下のとおり発言した。

すべてが終了するまで終わりではない。開票を見守ろう。地方から都市に至るまで、すべての投票・集計用紙を開票した後、我々の勝利を確信できるだろう。

野党連合が結成されてから、今次選挙が接戦になることはわかっていた。我々が全県で独自に実施した出口調査の結果は、我々の勝利を表している。

ケ 11月29日、国内主要メディアは、同28日に投票が行われた大統領選挙等総選挙の当日の様子について、開票・集計作業が続いているが(29日11時55分時点で開票率51.45%)、概ね平穏裡に今次選挙が実施されたとしつつ(一部に投票所での暴力行為や旧身分証を本人確認用に提示し投票を試みるといった不適切事案が指摘されている)、選挙監視等を行った国際社会及び国内の各機関・団体ほか今次選挙選挙で監視を行った国内NGOの反応を報じた。

(ア)国連

シャックルフォード・ホンジュラス当地国連事務所代表は、「無事に投票が終了し、ホンジュラス国民には祝意を表したい。我々は政治家や候補者に平静を呼びかけている。国家選挙委員会(CNE)の開票状況に係る発表は尊重されている」と評価した。

(イ)EU 選挙監視団(MOE)

MOEのゾフコ団長は、投票日は投票所内外で概ね平穏で、人々は静かに列に並び、待ち、正しく投票することで選挙権を行使していたと述べた。

(ウ)マドゥーロ・ベネズエラ大統領

マドゥーロ大統領は自身のツイッターで「セラーヤ元大統領(当館注:カストロ候補の夫)に対するクーデターから12年後に、モラサンの人々は希望の道に回帰し、今回選出されたカストロ候補に歴史的な勝利をもたらした。偉大な愛国主義は、ホンジュラスの民主主義と平和の勝利を祝っている。おめでとう」と述べた。

(エ)国内NGO等各種団体の反応

①国民統一フォーラム(FONAC)

FONACは、全国に1,315人の監視団を配置したが、投票は概ね平穏に実施され、暴動等は発生しなかった。また、コロナ対策等保健衛生についても問題はなかった

と発表した。

②ホンジュラス民主的公平ネットワーク (REDH)

同ネットワークは 745 人の監視団を派遣したが一部地域 (約 5%) で、有権者が票の売収行為の証拠として写真撮影を試みたり、暴力行為があったと告発した。

③より公正な社会のための協会 (ASJ)

ASJ は、他の市民社会と協働で監視活動をおこなった結果、旧国民 ID カード を本人確認用に提示し投票を試みた有権者や、投票用紙に投票受領委員会 (JRV) の認証スタンプがない投票用紙が発見されたり、有権者への二重投票防止用インクの塗布を怠ったり、死者の個人情報を使用して投票を試みたりするなどの不適切事案があったと報告した。

④国内経済団体 (ホンジュラス民間企業連合 (COHEP))

シカフィ COHEP 会長は、(今回の選挙における) 400 人のホンジュラス人、7,000 人の外国人監視団の役割を高く評価した。

コ 11 月 30 日付当地主要各紙は、野党連合 (リブレ党) のシオマラ・カストロ候補の勝利がほぼ確定したことを受け、同候補が次期政権に向けた準備を開始した旨報じた。

(ア) カストロ候補は投票日 28 日の夜に事実上の勝利宣言を行った後、リブレ党及びホンジュラス救済党等の野党連合で会議を実施したと見られる。大統領選挙の開票速報の進捗を見守るとともに、2022-2026 年の次期政権に向けた準備を開始し、また、様々なセクターとの協議の場を設けるべく調整していくと言われている。

(イ) カストロ候補は、2022 年 1 月 27 日に新大統領として就任する予定であるが、就任前に閣僚を発表する見込み。閣僚候補には、カストロ候補の夫であるマヌエル・セラヤ元大統領 (任期 2006-2009 年) 時代からの関係者が多数おり、その中にはウーゴ・ピノ元中銀総裁も挙げられている。

(ウ) カストロ候補は事実上の勝利宣言を行った際、全てのセクターと協力し、次期政権の基礎を固めるべく対話を重ねていくとしている。

サ 同 30 日付国内主要紙ラ・トリブナは、ホンジュラス民間企業連合 (COHEP) が次期大統領として当選が濃厚となったリブレ党シオマラ・カストロ候補と協働する用意があるとの立場を示した。

(ア) シカフィ COHEP 会長は自身のツイッターで「リブレ党シオマラ・カストロ候補の大統領選出に祝意を表する。我々は、経済再活性化と尊厳ある雇用を創出するために新政権と協働する用意がある」とカストロ候補へ向けたメッセージを出すと共に、経済界としてリブレ党他と協議のテーブルに着く用意があることを示した。

(イ) ウルテーチョ COHEP 理事長も記者会見で「選挙は混乱するかもしれないとの噂があったものの平和裏に終了した。次期政権が国民のために働くことを期待している。ビジネス環境改善と、尊厳ある雇用の創出が重要であり、カストロ候補にとって公約を守ることが国民との約束である。野党連合の新政権によって、法の支配と分権確

立で制度強化がなされることを期待している。投票率は約 70%であったが、これは選出される新大統領が有権者の大多数の信任を得ていることを示している。これを背景にして投資家が(当国に投資するため)安心できるよう制度的枠組みを強化することが重要である」旨、述べた。

シ 11 月 30 日付国内主要メディアは、同 28 日に行われた今次選挙に関し、現在も開票作業が進んでいる国会議員選挙における政党別国会議員の議席獲得予測を報じた。国会議員議席獲得予測

開票状況 49%の段階で、政党別獲得議席数予測が報じられた。現時点で、大統領選挙で優勢が見込まれている野党連合を構成する政党のうち、リブレ党が大躍進し、野党連合ナスララ副大統領候補が立ち上げた新政党ホンジュラス救済党が 12 議席を獲得するという予測がされている。一方で、現与党国民党の議席は大幅減の見込み。また、ホンジュラス愛国党(現有議席4議席)や PINU(同4議席)など少数政党が軒並み国会での議席を失うとの予測がされている。

リブレ党	: 52 議席(現有議席数 30)
国民党	: 42 議席(現有議席数 61)
自由党	: 21 議席(現有議席数 26)
ホンジュラス救済党	: 12 議席(現有議席ゼロ)(注: 新政党)
キリスト教民主党	: 1 議席(現有議席数1)
計	: 128 議席(現有議席には上記の他、反汚職党等少数政党の 10 議席が存在している)

2 外交

(1) 11 月 1 日、バラオナ外務国際協力筆頭次官は国家再建計画への支援要請などのため韓国を訪問した。

ア 10 月 27 日、バラオナ次官はソウルで韓国外交部チェ・ジョンゴン第1次官と会談し、両国の外交関係強化と、2020 年の熱帯暴風雨「イータ」及び「イオタ」に被害からの「国家再建計画」への支援を求めた。

イ 同日、バラオナ次官は、韓国の新シンクタンクで経済成長と世界環境保全の両立を目指した経済発展につき調査・研究を行う「グローバル・グリーン・グロウス研究所(GGGI)」のリーバーマン理事長を訪問し、意見交換をおこなった。

ウ またバラオナ次官はキム首相を表敬し、同席において改めて「国家再建計画」と、中米各国の持続的開発への支援を求めた。

エ 10 月 28 日には、ソウル市内で行われた韓国・中米ラウンドテーブルに出席し、デジタル・トランスフォーメーション、持続的インフラストラクチャー、農業近代化、保健、気候変動などについて意見交換をおこなった。

- (2) 11 月2日、エルナンデス大統領は英国グラスゴーで開催されている COP26 に出席した他、英国の欧州担当国務大臣と会談と行い同国の BCIE 参加要請を行った。

ア COP26 での演説

ホンジュラスでは 1970 年から 2020 年までに 82 件の自然災害が発生し、そのうち、67 件は気候変動の影響を受けている。ラテンアメリカカリブ経済委員会(ECLAC)によるとホンジュラスにおける気候変動による災害では約 60 億ドルの経済損失が生じ、2万2千人が命を奪われ、1万1千人が行方不明になり、何百万もの世帯に被害が及び、人々は移民を余儀なくされている。2020 年だけでも新型コロナの影響に加えて、2つのハリケーンの被害を受けている。これらの自然災害の結果、経済損失は 21 億ドル、GDP の 9.2%にのぼる。先進各国には、GDP の 9.2%を失うことの意味を想像してもらいたい。また、干ばつによって 2014 年から 2021 年の間に 4.53 億ドル、GDP の 1.7%の経済損失を受けた。こうした状況の一方で、気候変動サミットで各国首脳が気候変動についての理論を展開しているが、具体的な成果はあるのだろうか？ローマの G20 では最も裕福な国々が CO2 排出量の約 80%を占めていると結論づけている。ホンジュラスはこの汚染に苦しめられている。私はこの会合が効果的な、言葉ではなく実際の行動を示すサミットとして最後のチャンスと考えている。ホンジュラスではこう言われている、「希望は、最後に失われるもの」だと。

イ ウェンディ・モートン英国欧州担当国務大臣との会合

COP26 の本会議に先立ち、エルナンデス大統領はモートン大臣と会談し、気候変動緩和のための資金手当てを念頭に中米経済統合銀行(BCIE)への英国参加を要請した。

- (3) 11 月5日、ホワイトハウスは駐ホンジュラス米国大使にローラ・ファンズワース・ドグ陸軍参謀総長外交政策アドバイザーを指名すると発表した。同大使は今後米上院外交委員会、同本会議での承認等を経て着任する見込み。

- (4) 11 月 12 日から 13 日、エルナンデス大統領が台湾を訪問し、蔡総統他と会談した。

ア 13 日、エルナンデス大統領は蔡総統との会談をおこない、台湾がエルナンデス政権の成果の鍵を握っていたとして、これまでの支援につき蔡総統に直接謝意を述べた。(11 月末の選挙で選出され来年1月に就任する)新大統領に対しても同様に支援をお願いしたいと述べると共に、当国南部フォンセカ湾の漁業促進と、そのための台湾企業の当国進出のための支援を要請した。フォンセカ湾の零細漁業支援では、ホンジュラス政府が第一段階として伝統的漁業をおこなっている零細漁民たちに漁船を提供し、その後、中長期的観点で、研修や産業化などについて台湾側に支援を願いたいと語った。これに対して蔡総統からは、ホンジュラスによるアジア市場へのアクセスのためフォンセカ湾に対する台湾の海運会社による投資を促進していく意向を示した。その中で、台湾企業が調査団を送り、二大洋間(太平洋と大西洋)を結ぶホンジュラスのロジスティックプラットフォームとしてのポテンシャルについて評価を行ったこ

とや、開港間近のパルメローラ新国際空港が当国の更なる経済開発に国家の発展に貢献するであろうと述べた。また、蔡総統は技術協力のみならず、教育、経済、貿易などの分野でも交流を深めたい旨述べた。

イ エルナンデス大統領と呉台湾外交部長との会談(13日)

エルナンデス大統領は、呉台湾外交部長と会談し、フォンセカ湾の開発計画促進について意見交換が行われた。その中で、「エ」大統領は、太平洋とカリブ海の二大洋を結ぶ乾燥回廊(カナル・セコ)、港湾、空港、道路などロジスティック・インフラストラクチャーの重要性について言及した。特に同湾におけるアマパラ港建設について、アジア諸国との海運促進における重要性を強調した。エルナンデス大統領は「台湾はホンジュラスにとって非常に重要な国であり、現在の輸出品のみならず、新しい市場についても開拓・拡大したい」旨述べた。

ウ 台湾経済界との意見交換

エルナンデス大統領は台湾訪問中、漁業関係の台湾企業家らとも会合を持ち、フォンセカ湾の投資について意見交換を行った。その中で、台湾側関係者からは、フォンセカ湾における漁業加工センター設立等に関心を持っており、来週代表団がホンジュラスを訪問して投資条件などを話し合う予定になっているとの発言があった。

エ 13日午後には、エルナンデス大統領列席の下、台湾外交部からロサレス外相に対して、両国関係強化に貢献したとして叙勲伝達式が行われた。(往電第1343号)

(5) 11月17日、当国首都テグシガルパの中央省庁合同庁舎内にイスラエル大使館が開設された。

ア 17日の当地イスラエル大使館のオープニングセレモニーには、ホンジュラス側からエルナンデス大統領、ロサレス外相他が、イスラエル側からはアビダル戦略計画大臣、ゴラン駐ホンジュラス大使、ペレッド同国外務省中南米局長他が出席。当地外交団も招待された。

イ ホンジュラスとイスラエルは1950年に外交関係を樹立。イスラエルは、1994年に在ホンジュラス大使館を閉鎖し、在グアテマラ大使館から当国を兼轄してきたが、2020年8月、当国首都テグシガルパに協力事務所を開設、今回、同事務所を大使館に格上げし、26年ぶりの大使館再開となった。他方で、ホンジュラスは、2019年9月にエルサレムに通商事務所を開設、本年6月には大使館をテルアビブから同地に移転し、同地に大使館を設置する世界で4番目の国となった。

(6) 11月22日、ブライアン・ニコルズ米 국무省西半球局 國務次官補がホンジュラスを訪問した。

ア 21日、今月28日に予定されている総選挙実施を前に、ホンジュラスの民主主義の強化を支援するため、ニコルズ米 국무次官補が当国に到着した。在ホンジュラス米 国大使館によれば、訪問日程は21日から23日までとなっている。

イ 当国訪問中、ニコルズ次官補は当国政府関係者、国家選挙委員会（CNE）、市民社会、民間関係者等との会合をおこなった。

ウ ニコルズ次官補は、自身のツイッターアカウントにて、「米国は世界の民主主義を支援している。今回の訪問を通じ、ホンジュラス政府関係者、政治関係者、市民社会と協議を行い、ホンジュラス国民が平和かつ公正な選挙を行えるよう支援する。」旨投稿した。

3 新型コロナウイルス

ア 保健省発表によるワクチン接種状況（2021 年 11 月末時点）

1 回目のみ接種済 4,760,542 人、2 回目まで接種済 3,483,320 人、3 回目接種済 213,037 人、合計 8,456,899 回。少なくとも1回接種した人の割合は全人口の約 50%。

イ 当国へのワクチン到着の状況（計 10,396,922 回分）（2021 年 11 月末時点）。

（ア）政府による購入：ファイザー社製 4,028,310 回分到着済（契約数約 710 万回分）、ロシア製スプートニクV8.6 万回分到着済（契約数 420 万回分）、アストラゼネカ社製 974,020 回分到着済（契約数 140 万回分）

（イ）COVAX ファシリティを通じた無償取得：モデルナ社製・アストラゼネカ社 製・ファイザー社製（COVAX 経由の米国供与及びスペイン供与（下記（カ）とは別）を含む）計 4,714,820 回分

（ウ）メキシコ政府からの譲渡：アストラゼネカ社製 30 万回分

（エ）イスラエル政府からの譲渡：モデルナ社製 0.5 万回分

（オ）エルサルバドル政府からの譲渡：アストラゼネカ社製約 8 万回分

（カ）スペイン政府からの譲渡：アストラゼネカ社製 10 万回分

（キ）ドミ（共）政府からの譲渡：アストラゼネカ社製約 10 万回分

ウ 11 月末時点で、当国（人口約 945 万人）における累計感染者数は 377,976 人、死者数は 10,409 人。（国家危機管理対策本部（SINAGER）発表）

エ 10 月 25 日から、医療従事者や高齢者を手始めに、3 回目接種が開始された。

＜主要経済指標＞

◇主要経済指標◇	2021 年				2020 年	2019 年
	10 月	9 月	8 月	7 月		
インフレ率（前年同月比）	4.65%	4.62%	4.48%	4.26%	4.01%	4.08%
貿易収支(百万ドル)	—	—	—	—	△2,557.9	△3,107.4
輸出(百万ドル)	—	—	—	—	7,683.4	8,718.3
輸入(百万ドル)	—	—	—	—	10,241.3	11,825.6
外貨準備高（百万ドル）	8823.3	8,972.9	8,632.8	8,632.8	8,148.8	5,808.9
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—	—	5,573.1	5,384.5
為替レート（対ドル月平均）	24.26	24.22	23.93	23.93	24.75	24.68

＜出典：ホンジュラス中央銀行＞ ※貿易収支、輸出入、外国送金は、四半期毎に発表

（了）